

町長

令和2年度第2回大山町教育総合会議を行います。今日は、校庭の芝生化について、英語教育について、テメキュラ中学生交流について、少人数学級について等、大山町で課題となっていることを一つひとつ前に進めていきたいと思えます。予算や議会での議論も必要になりますが、まずは総合教育会議において教育委員の皆さんからご賛同いただき力強い後押しをいただきたいと思えます。宜しく願ひいたします。

教育長

竹口町長と意見を交わせる貴重な時間となります。委員の皆さんから忌憚のないご意見を宜しく願ひいたします。

次長

(1) 校庭の芝生化について、大山西小学校のグラウンド整備について、従来型のグラウンド整備にするか芝生化にするのか、また、町内小学校の芝生化を順次進めていくべきかどうかの意見をいただきたい。大山西小学校のグラウンド整備案について、従来型のグラウンド整備は約15,000,000円かかり、8～10年に一度60万程度で表土の補充や整地を行う必要があります。グラウンド芝生化は子ども達の怪我の防止、熱中症予防につながるが、コスト面と維持管理の課題があり、野球で使用する内野を除く全てを芝生化し、土壤改善も含め約39,600,000円かかり、維持管理機器購入費(自動芝刈り機4台)として2,200,000円、維持管理費として施肥料が年間240,000円かかります。芝生を洋芝か和芝にするのか検討が必要です。芝生化にする時期も協議しながら決めていきたいと思えます。

教育長

大山小学校はグラウンドが和芝の芝生化となって14～15年ほどたちます。大山小学校は水やり、芝刈り、草取り等の芝の維持管理を芝ボランティアさんがしてくださり、芝ボランティアの皆さんの協力のうゑで成り立っていると感じています。

委員

芝生化した話を聞くと子ども達の怪我の件数も減り芝生化してとても良かったという話を聞きます。大山西小学校のグラウンドは本当に水はけが悪い。芝生化することは賛成だが、経費や維持費が課題です。PTAやボランティアに願ひしてはどうでしょうか。

委員

グラウンドの芝生化に賛成です。耐久性の強い芝を入れてほしいと思えます。

次長

洋芝も和芝もボランティアで植え付けをすることはできます。洋芝を植えた場合に近くの日本芝農家の和芝に影響を与える場合があり検討が必要です。

教育長

PTA や子ども達が自分達でグラウンドの芝を植え付けることによって愛校心に繋がると考えています。

委員

とても良い取り組みだと思います。大山西小学校を皮切りに全小学校を芝生化していただきたいと思います。

次長

各保育園は日本芝を使っています。

教育長

保育所の職員に芝の管理が課せられている保育所もあると聞いています。できるだけ学校の教職員には芝の管理には携わらないように、業務を課すことがないようにしていきたいと思います。

次長

今回は和芝での材料費として500万をあげていますが、洋芝だと値段がもっと安くなります。

教育長

和芝は使用頻度が高いと弱く傷んでしまう印象があります。

町長

庄内小学校のグラウンドは地域自治組織のボランティアの皆さんで植え付けをした和芝ですよね。

参観人

ボランティアの皆さんでやるのは大変でしたが芝を張り付けることはできます。芝の自然の力で何年かするときれいな芝になります。

委員

芝にするのは大賛成ですが、芝刈り機の盗難が心配です。

町長

芝刈り機には盗難保険があるので大丈夫です。初期投資はかかっても、芝生化によってその後の土の入れ替え等の大幅な改修工事がなくなればコスト的な負担はなくなると考えています。維持管理費は事務局側が考えるよりも、町内の芝生生産者や芝協会に施工から維持

管理まで一括でプロポーザルを実施したほうが良い品質のグラウンドになりコストも落ちるのではないかと思います。その中で、PTA や子ども達で芝の植え付けをする等の条件をつけながら民間の事業者に振ってみたほうが良いと考えています。

教育長

ありがとうございます。芝生化について皆さんから賛成の意見をいただきました。皆さんのご意見を参考に進めていきたいと思ひます。

(2) 英語教育についてよろしくお願ひいたします。

町長

町の教育の重点目標の一つに英語教育がありますが、大山町として今ある英語教育にどういった改善が必要なのか、どういった特色ある英語教育ができるのかについて皆さんから意見をいただきたいと思ひます。

委員

小学校の英語教育は楽しい英語教育を取り組んでいますが、中学1年生になった時の英語学習の方向性が子ども達に伝わっていない気がします。もっと、子ども達を巻き込んだ英語学習を行わないと力につかない。英語に親しんできた子ども達なのに、なぜ中学校に入ると力につかないか不思議に感じています。

町長

何を英語教育の目標にするのか、大きく分けて2つあると考えています。テストで点を取れる英語教育を目指すのか、もしくは、コミュニケーションがとれる英語教育を目指すのか。両方目指すことが一番理想的だが、大山町としてどちらに重点をおいていくのか皆さんにご意見をいただきたいと思ひます。

委員

大山町の子ども達は保育所の頃から英語に慣れ親しんでいて、聞き取る力がついていると感じています。高校生を母校によんで英語でスピーチをしてもらおうと憧れの先輩として、目標がもてるのではないかと思ひます。

町長

大山町は保小中の連携はとれているが高校とは繋がっていません。中学と高校との繋がりができてくると、英語教育だけでなくロールモデルイメージが出来て良いと思ひます。

委員

保小中の連携で楽しい英語だが、中学校では文法が書けなくてテストで良い点が取れない。コミュニケーションに力を入れていた時もあったが、テストで点が取れない。楽しく学

べて子ども達に力がつくにはどうしたらいいのか。文法も大切だと思います。決め手が、今ひとつ見つからない状態です。

町長

課題と、こういう姿になったらいいな。という意見をどんどんだしていただきたい。リスニングは出張英語村で、英語村に入ったら全て英語という環境作りの取り組みをしている。町内の小中学校に英語村のような環境を作るのは難しいと思うが、そういった取り組みができないかと考えている。

委員

受験では英語力と会話力は全く別物だと思います。難しい課題だと思います。

町長

英語は環境に慣れるのが大切だと思います。今は子ども中心に話しているが、大人になっても英語に触れたい方はおられます。生涯学習の面でスポット的にやっていくのも一つの案だと思います。施設を作るとか、学校で教育的にやるのではなく、社会教育でスポット的に取り組むのも良いと思います。

社会教育課長

公民館で小学生1・2年生を対象に行っている英語講座は月に1回で講師の人数も限られています。月に1回で英語を習得していくのは難しいと正直思っています。

委員

保育所で英語教材を活用して英語を耳で覚えられる環境作りをされると良いのではないかと思います。

委員

英語は耳から覚えるのが大切だと思います。

町長

保育士が補えないところを、教材を活用して補っていくのは良いと思います。

委員

英語合宿デーのように英語を集中的に取り組む時間があると良いと思います。

教育長

小さい時からネイティブな環境で聞き取る力がついていきます。課題や理想的な姿の意見をもとに特色ある英語教育を進めていきたいと思っています。

(3) テメキュラ中学生交流についてお願いします。

次長

令和2年度はコロナの関係でテメキュラ交流を中止しました。例年12月に募集し準備をしていきますが令和3年度はどうしていくのか、皆さんの意見を聞かせていただきたいと思います。

町長

渡航の禁止が解かれないとテメキュラにも行けない。不確定なものに向かって募集をかけるのも無理がある。中止させていただくということでどうでしょうか。

全委員

了承。

次長

令和3年度のテメキュラ交流会は中止で進めさせていただきます。

教育長

ありがとうございました。委員の皆さんから賛成をいただきました。町長さんからも財政的に問題ないとの意見をいただきましたので進めさせていただきます。今日は貴重な意見を有難うございました。これからの大山町の教育に活かしていきたいと思います。